



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月31日

上場会社名 株式会社 オートバックスセブン 上場取引所 東  
コード番号 9832 URL <https://www.autobacs.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役 社長 (氏名) 堀井 勇吾  
問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長 (氏名) 大木 勝仁 TEL 03-6219-8787  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無： 有  
決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	54,011	△6.3	1,057	△48.0	1,356	△33.9	730	△45.7
2024年3月期第1四半期	57,668	9.1	2,031	29.8	2,050	12.6	1,345	△23.4

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 1,290百万円 (△11.0%) 2024年3月期第1四半期 1,449百万円 (△54.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	9.37	—
2024年3月期第1四半期	17.26	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	191,468	127,059	66.3	1,628.11
2024年3月期	194,948	129,152	66.1	1,652.71

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 126,905百万円 2024年3月期 128,845百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	30.00	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

2024年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 10円00銭

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	240,300	4.5	12,000	49.8	12,500	54.4	7,700	21.2	98.79

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	82,050,105株	2024年3月期	82,050,105株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	4,103,679株	2024年3月期	4,090,227株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	77,951,720株	2024年3月期1Q	77,947,985株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(重要な後発事象の注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方で、ウクライナおよび中東情勢の長期化や物価高による個人消費の低迷が懸念されるなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

国内の自動車関連業界の動向といたしましては、一部自動車メーカーの生産・出荷停止の影響により、新車販売台数は前年を下回る水準で推移いたしました。中古車においては、円安の進行により輸出需要が旺盛である一方、新車販売の停滞により中古車の流通台数が減少し、中古車価格が上昇傾向にあります。カー用品関連においては、物価上昇の影響もあり依然として厳しい市場環境におかれております。

このような環境下において、当社グループは、お客様にとっての「モビリティライフのインフラ」をグローバルで目指し、2024 中期経営計画「Accelerating Towards Excellence」に基づき、「タッチポイントの創出」「商品・ソリューションの開発と供給」「新たな事業ドメインの設定」を戦略骨子とした各種施策を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高540億11百万円（前年同期比6.3%減少）、売上総利益184億87百万円（同4.3%減少）、販売費及び一般管理費174億30百万円（同0.8%増加）、営業利益10億57百万円（同48.0%減少）、経常利益13億56百万円（同33.9%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億30百万円（同45.7%減少）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 〔国内オートバックス事業〕

国内オートバックス事業は、物価上昇の影響を受けつつも、個人消費に緩やかな改善傾向が見られたことに加え、販売促進を強化したことなどにより小売売上は堅調に推移いたしました。一方で、卸売売上は昨年5月のタイヤ値上げ前の卸売増加に対する反動減により、国内オートバックス事業の売上高は411億75百万円（前年同期比2.0%減少）となり、セグメント利益は36億22百万円（同14.6%減少）となりました。

国内オートバックスチェーン（フランチャイズ加盟店舗を含む）の全業態の売上高は、前年同期比で既存店が2.5%の増加、全店が2.7%の増加となりました。

国内オートバックスチェーンでは、タイヤ大還元祭や店頭における品揃えの見直しなどにより、タイヤの売上が伸長いたしました。また、既存車のメンテナンス需要を背景にオイルやバッテリーが伸長し、タイヤ、オイル、バッテリー交換工賃も好調に推移いたしました。

プライベートブランドについては、自信をもっておすすめできる価値ある商品の開発・販売を推進しております。2024年4月には、「AQ.（オートバックスクオリティ.）」から低価格で高品質なオリジナルピットサービス「AQ.ピットメニュー」の販売を開始いたしました。また、オートバックス誕生50周年を記念した商品の企画・販売も進めております。

車検・整備については、アプリからのピット作業のWeb予約が定着しつつあり、公式アプリからのピット作業予約件数が前年同期比27.7%増加いたしました。車検実施台数は、車検対象車両台数の減少を背景に、前年同期比3.7%減少の約15万2千台となりました。

車販売については、新車販売台数が前年を下回り、中古車販売台数は前年同水準で推移いたしました。国内オートバックスチェーンにおける総販売台数は前年同期比5.0%減少の約7千4百台、総販売金額は前年同期比3.7%増加の84億48百万円となりました。

国内における出退店は、新規出店が7店舗、退店が1店舗あり、2024年3月末の1,003店舗（内、併設店およびインショップは414店舗）から1,009店舗（内、併設店およびインショップは415店舗）となりました。2025年3月期の期首より併設店およびインショップを含んだ店舗数に変更し記載しております。

〔海外事業〕

海外事業における売上高は34億38百万円（前年同期比8.0%減少）、セグメント損失は1億90百万円（前年同期は33百万円のセグメント損失）となりました。

小売・サービス事業においては、ウクライナ情勢や世界的なインフレの影響を受けたものの売上は増加し、卸売事業においては、国内からの輸出取引が大幅に減少し、売上が減少いたしました。

フランスにおいては、価格の適正化や営業活動の最適化などの対策を実施いたしました。シンガポールにおいては、COE（車両購入権）の価格上昇に伴い、既存車のメンテナンス需要拡大を取り込み、ピットサービスが好調に推移いたしました。マレーシアにおいては、オーソライズドディーラー認定店が増加いたしました。オーストラリアにおいては、インフレや金利上昇を背景に、消費者の購買意欲が低下したことなどにより売上が減少いたしました。中国においては、日本国内への輸出が拡大し、売上が増加いたしました。

海外における出退店は、新規出店が10店舗あり、2024年3月末の109店舗から119店舗となりました。

〔ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業〕

ディーラー・BtoB・オンラインアライアンス事業における売上高は92億81百万円（前年同期比24.7%減少）、セグメント損失は2億10百万円（前年同期は32百万円のセグメント利益）となりました。

ディーラー事業においては、Audiの正規ディーラーを運営する子会社とBYDの正規ディーラーを運営する子会社が好調に推移いたしました。前期にBMW/MINI正規ディーラー事業を行う子会社2社を譲渡した影響で、前年同期比では売上が大幅に減少いたしました。

BtoB事業においては、社用車のメンテナンスやカー用品などの法人一括払いが可能となる「オートバックス法人会員制度」への加入件数が順調に増加いたしました。また、日産自動車株式会社との協業にも注力しており、車種専用アイテムの企画開発・販売を行っております。

オンラインアライアンス事業においては、ECサイトでの取扱商品を大幅に増やしたこと等により、売上が増加いたしました。また、ネットとリアルとの融合を進めており、カーライフに必要な情報サービス・コンテンツを集約したカーライフ総合情報サイト「MOBILA（モビラ）」を通じて、潜在顧客へのアプローチとオートバックス店舗への送客を目指しております。

〔その他の事業〕

その他の事業における売上高は45億92百万円（前年同期比11.2%増加）、セグメント損失は11百万円（前年同期は1億69百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

財政状態は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ34億80百万円減少し、1,914億68百万円となりました。主に受取手形及び売掛金が増加した一方、未収入金が減少したことなどによるものです。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ13億87百万円減少し、644億9百万円となりました。主に未払法人税等および未払金が減少したことなどによるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ20億92百万円減少し、1,270億59百万円となりました。主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加があった一方、利益剰余金の配当などによる減少があったためです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,297	29,857
受取手形及び売掛金	22,383	24,964
商品	22,635	23,177
未収入金	26,047	19,891
その他	9,859	9,278
貸倒引当金	△31	△33
流動資産合計	112,191	107,136
固定資産		
有形固定資産		
土地	24,576	24,606
その他(純額)	23,676	24,893
有形固定資産合計	48,252	49,500
無形固定資産		
のれん	1,080	1,210
その他	6,683	6,540
無形固定資産合計	7,763	7,750
投資その他の資産		
差入保証金	11,638	11,757
その他	15,116	15,338
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	26,741	27,082
固定資産合計	82,757	84,332
資産合計	194,948	191,468
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,050	22,667
短期借入金	11	514
未払金	15,200	13,509
未払法人税等	2,109	350
その他	9,612	10,682
流動負債合計	48,984	47,723
固定負債		
社債	—	250
長期借入金	6,023	5,534
引当金	7	7
退職給付に係る負債	256	267
資産除去債務	2,691	2,929
その他	7,832	7,696
固定負債合計	16,812	16,685
負債合計	65,796	64,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,998	33,998
資本剰余金	34,218	34,124
利益剰余金	63,670	61,280
自己株式	△6,970	△6,983
株主資本合計	124,917	122,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,124	2,352
為替換算調整勘定	1,803	2,132
その他の包括利益累計額合計	3,928	4,484
非支配株主持分	307	154
純資産合計	129,152	127,059
負債純資産合計	194,948	191,468

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	57,668	54,011
売上原価	38,345	35,523
売上総利益	19,322	18,487
販売費及び一般管理費	17,291	17,430
営業利益	2,031	1,057
営業外収益		
受取利息	21	25
受取配当金	58	66
持分法による投資利益	162	126
情報機器賃貸料	263	199
その他	291	366
営業外収益合計	798	784
営業外費用		
支払利息	19	13
情報機器賃貸費用	660	247
固定資産除却損	12	15
その他	86	209
営業外費用合計	778	485
経常利益	2,050	1,356
税金等調整前四半期純利益	2,050	1,356
法人税、住民税及び事業税	637	199
法人税等調整額	71	423
法人税等合計	709	622
四半期純利益	1,341	733
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,345	730
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	2
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△166	228
為替換算調整勘定	228	263
持分法適用会社に対する持分相当額	46	65
その他の包括利益合計	107	557
四半期包括利益	1,449	1,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,440	1,287
非支配株主に係る四半期包括利益	8	3



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート バックス 事業	海外事業	ディーラー ・BtoB・ オンライン アライアン ス事業	その他の 事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	40,923	3,625	10,218	2,283	57,051	—	57,051
その他の収益	—	21	—	596	617	—	617
外部顧客への売上高	40,923	3,646	10,218	2,879	57,668	—	57,668
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,084	88	2,101	1,248	4,523	△4,523	—
計	42,007	3,735	12,320	4,128	62,192	△4,523	57,668
セグメント利益又は 損失(△)	4,243	△33	32	△169	4,072	△2,041	2,031

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,041百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき重要な事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	国内オート バックス 事業	海外事業	ディーラー ・BtoB・ オンライン アライア ンス事業	その他の 事業	合計		
売上高							
顧客との契約から生 じる収益	40,020	3,289	7,552	2,561	53,423	—	53,423
その他の収益	—	—	—	587	587	—	587
外部顧客への売上高	40,020	3,289	7,552	3,149	54,011	—	54,011
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,154	148	1,729	1,443	4,475	△4,475	—
計	41,175	3,438	9,281	4,592	58,487	△4,475	54,011
セグメント利益又は 損失(△)	3,622	△190	△210	△11	3,210	△2,153	1,057

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△2,153百万円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
記載すべき重要な事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	1,206百万円	1,335百万円
のれんの償却額	83	93

(重要な後発事象の注記)

取得による企業結合

当社は、2024年7月31日開催の取締役会において、オトロンカーズ株式会社の全株式を取得し、完全子会社化すること（以下、「本取引」といいます。）について決議し、同日付で株式譲渡契約を締結いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：オトロンカーズ株式会社

事業の内容：自社ローン型中古車販売事業

(2) 企業結合を行う主な理由

当社グループは、「社会の交通の安全とお客様の豊かな人生の実現」をパーパスに掲げ、人とクルマが共存し続けられるサステナブルな社会の実現を目指しております。2024年5月には、長期的かつ持続的な企業価値向上を目指して、さらに加速度的な成長を実現すべく、2024 中期経営計画「Accelerating Towards Excellence」を発表いたしました。

本取引は、同中期経営計画の戦略の一つである「モビリティライフを支え続けるタッチポイントの創出」における重点施策「出店を含む新規拠点・チャネルの拡大（100拠点）」の一環であり、オトロンカーズ株式会社が当社グループに加わることで、当社グループの既存事業へさまざまなシナジーを生み、重要な事業ドメインとしている中古車販売事業の競争力強化に資すると判断いたしました。

(3) 企業結合日（予定）

2024年8月30日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによるものです。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	3,360百万円
取得原価		3,360百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

現時点では確定しておりません。

4. 発生するのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。